

異常なほど暑かった今年の夏ですが、秋の様子になりました。横浜周辺では金木犀の香りがそこかしこで感じます。さて、これまで15日を過ぎたことが（原稿提出時点）無い（はず）のニュースレター、ついに16日になってしまいました。週末になることを忘れていました。いかんいかん。

今回はこれまで書いた事の無い、教育研修部についてちょっとお知らせします。

タイトルにもなっているのに、我々のことを描いたことがありませんでしたね。教育研修部は初期研修医だけではなく、専攻医、特定行為看護師、JNPなど、院内でpostgraduate、教育機関を卒業した後の、職務上の教育活動を支援するために設けられました。しかし、市中病院では継続的な教育は難しいのがホントのところ、それを少しでも底上げするため教育研修「部」として職員を配置する形で運営されています。

初期研修医のローテーション表の作成や、専攻医の症例蓄積の整理、医学生見学の調整など、種々の業務を担っていています。院内の教育研修行事の管理や、それに合わせて発行される研修認定証の作成など、種々の業務をこなしてくれています。

主に担当してくれているのは、医局の仕事から教育研修部に軸足を移してくれている主担当者さん、病院見学の采配もしてくれているので、会ったことがある方もいるかもしれません。事務担当者も少しずつ変わっていますが、係長さんにもとても助けられています。皆さんありがとうございます。特定行為研修でも専任者がついてくれています。

研修や、専攻医のこまごました、余分な仕事は教育研修部で引き受けて、若い先生が自身の仕事に専念してもらうことが、診療にも、また研修にも、役立つと思っています。



今後は、どんな職員であってもスキルアップに努める必要がありますから、それを支える部署として、本年度からは体制も一新して頑張ってくれています。

整理整頓が苦手な私と違って、資料の整備、日々感謝してます。私の机の上は出せないなあ